



## SDGs 達成に向けた取組み

# 自然災害や交通事故から 1 人でも多く子どもたちを守り、包括的かつ公平で質の高い教育支援に貢献する



### 目的・背景

弊社は、「お客様や社会の“いつも”を支え、“いざ”をお守りする」ことをパーパスとして、社会や地域の人々を事故や災害から保険を通じてお守りすることだけでなく、保険事業で培った知識と経験を活かし、事故の未然防止や事前の「安心と安全」の提供を行っております。

私たちの一歩先の未来を見据え、「未来世代」を主要ステークホルダーのひとつとして明確化し、「未来世代」へ持続可能な環境を引き継ぐこと、子どもたちへの教育啓発を通じて「未来世代」の挑戦を支えることは、私たちの責務であると考えております。未来を担う子どもたちへの教育支援として、弊社社員や保険販売代理店が講師となり「ぼうさい授業」「自転車安全教室」の出前授業を実施しています。

### 具体的な取組内容

#### ■ 「ぼうさい授業」について

- ・愛媛県内の小学校 28 校に企画提案し、6 月～12 月期間において、20 校で実施しました。
- ・地震や津波などの災害が発生する仕組みについて学習し、クイズや話し合いを通じて、非常持ち出し品等を使用しながら災害時の対応や備えについて考え、学校や家庭で防災について家族と話し合うことをテーマに授業を実施しております。



#### ■ 「自転車安全教室」について

- ・松山市内の警察署（東署・西署）・松山市と連携し、松山市内の高校・大学を対象に 4 月～11 月で 11 校（13 回）実施しました。
- ・自転車の交通ルールの周知や、路上駐車の危険性・駐輪マナーについて授業を実施し、自転車の交通事故と損害賠償責任についての理解を深めながら、事故防止についての理解促進に取り組んでおります。

### 成果

- ①ぼうさい授業：令和 5 年度 10 校実施  
→令和 6 年度 20 校実施（28 校実施予定）
- ②自転車安全教室：令和 5 年度 10 校（12 回）実施  
→令和 6 年度 11 校（13 回）実施

「ぼうさい授業」では、「安心・安全をお届けする」「人を支える」の取組みとして実施しています。子どもたちが地震・津波・水害・土砂災害の発生メカニズム、発生への備え等を学ぶ出前授業を開催しました。子どもたちが授業で学んだ知識を、家族と話し合うことで、一家全体で防災への意識を高め、災害に強い地域づくり・住み続けられるまちづくりに貢献しております。

「自転車安全教室」では、令和 5 年度より実施回数も増やすことができ 13 回の実施となっております。自転車を通学で利用する学生も多い中、自転車安全教室を通じて交通ルールや路上駐輪の危険性、自転車の交通事故と損害賠償責任についての理解を深めることができました。

### 担当者の思い

本取組みを通じ、SDGs に取り組むことが弊社のパーパスの実現につながっていることを実感しました。

SDGs の普及に積極的に取り組むことや人を支える「D&I の推進・浸透」を通じて、社員一人ひとりの働きがいの向上と成長、また社会への貢献や弊社の認知度向上にもつながっていると感じております。

今後も継続して取り組むことで、お客様や社会の“いつも”を支え、“いざ”をお守りし、地域社会になくてはならない存在を目指して日々挑戦してまいります。

（愛媛支店業務グループ シニアアソシエイト 西田 奈生）